

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：老人福祉費

| | |
|------------|---|
| 事業名 | 外国人介護福祉士候補者受入施設学習支援 事業費補助金（国補） |
|------------|---|

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

健康福祉部 高齢福祉課 長寿社会推進係 電話番号：058-272-1111（内 2594）

E-mail：c11215@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 22,920 千円（前年度予算額：25,035 千円）

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|-----|--------|------------|------------|------------|----------|-----|-----|----|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財産 収入 | 寄附金 | その他 | 県債 | 一 般 財 源 |
| 前年度 | 25,035 | 25,035 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 要求額 | 22,920 | 22,920 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 決定額 | 22,920 | 22,920 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

2 要求内容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

経済連携協定（E P A）に基づき入国する外国人介護福祉士候補者の円滑な就労・研修を支援するため、候補者を受け入れた施設が実施する日本語学習や介護技術学習に必要な経費を補助する。

（2）事業内容

補助金 22,920 千円

受入施設が実施する候補者の日本語学習、介護分野の専門知識の学習、学習環境の整備及び受入施設の研修担当者の活動に係る費用の一部を助成

@ 235,000円 /人 × 候補者数 84人 = 19,740千円

@ 80,000円 × 受入施設 16施設 = 1,280千円

@ 95,000円 /人 × 候補者数 20人 = 1,900千円

令和4年度想定

| | 受入年度 | | | | | 計 |
|----------|------|------|-----|--------|-----|-----|
| | 30年度 | R元年度 | 2年度 | 3年度 | 4年度 | |
| 補助対象候補者数 | 18人 | 17人 | 9人 | 20人(※) | 20人 | 84人 |

※新型コロナウイルス感染症の影響によりR3.9時点で入国できていないため見込数

(3) 県負担・補助率の考え方

国庫 10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|------|--------|--------------------------|
| 補助金 | 22,920 | 報償費、諸手当、旅費、消耗品費、役務費、委託料等 |
| 合計 | 22,920 | |

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

令和4年度も経済連携協定（EPA）に基づき、外国人介護福祉士候補者の受け入れを行う。

(2) 後年度の財政負担

引き続き、経済連携協定（EPA）に基づき入国する外国人介護福祉士候補者の円滑な就労・研修を支援する。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

| | |
|-------------------------------------|--------|
| <input type="checkbox"/> | 新規要求事業 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 継続要求事業 |

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 経済連携協定（EPA）に基づき入国する外国人介護福祉士候補者の円滑な就労・研修を支援する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 (H30) | R2年度 実績 | R3年度 目標 | R4年度 目標 | 終期目標 (R5) | 達成率 |
|-----|----------------|------------|------------|------------|--------------|-----|
| | | | | | | |

○指標を設定することができない場合の理由

経済連携協定（EPA）に基づき入国する外国人介護福祉士候補者の円滑な就労・研修を支援するものであり、数値目標になじまない。

（これまでの取組内容と成果）

| | |
|-------|--|
| 令和2年度 | ・取組内容と成果を記載してください。 61名の外国人介護福祉士候補者の受入れ施設が実施する日本語学習支援に係る費用に対し補助を行った（16施設）。 |
| 令和3年度 | 指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____% |
| 令和4年度 | 指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____% |

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|--|---|
| <p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p> | |
| (評価) 3 | <p>経済連携協定（EPA）に基づき入国する外国人介護福祉士候補者の円滑な就労・研修を支援するためのものであり、必要性が高い。</p> |
| <p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p> | |
| (評価) 2 | <p>受入れ人数は増加傾向にあり、支援の成果が出ている。</p> |
| <p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p> | |
| (評価) 1 | <p>年間実績報告書の受領、審査後の助成としており、事業の効率化は図られている。</p> |

(今後の課題)

| |
|-----------------------------|
| <p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> |
|-----------------------------|

(次年度の方向性)

| |
|---|
| <p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p> <p>国において、引き続き経済連携協定（EPA）に基づき入国する外国人介護福祉士候補者の受け入れを行うこととされており、支援を継続する。</p> |
|---|

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|-------------------------------|--------------|
| <p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p> | <p>【〇〇課】</p> |
| <p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p> | |